

カリキュラムの概要

カリキュラム

大学教育の目的を達成するために、教科の配列や時間配当などの教育計画を示したもの。「教育課程」ともいいます。

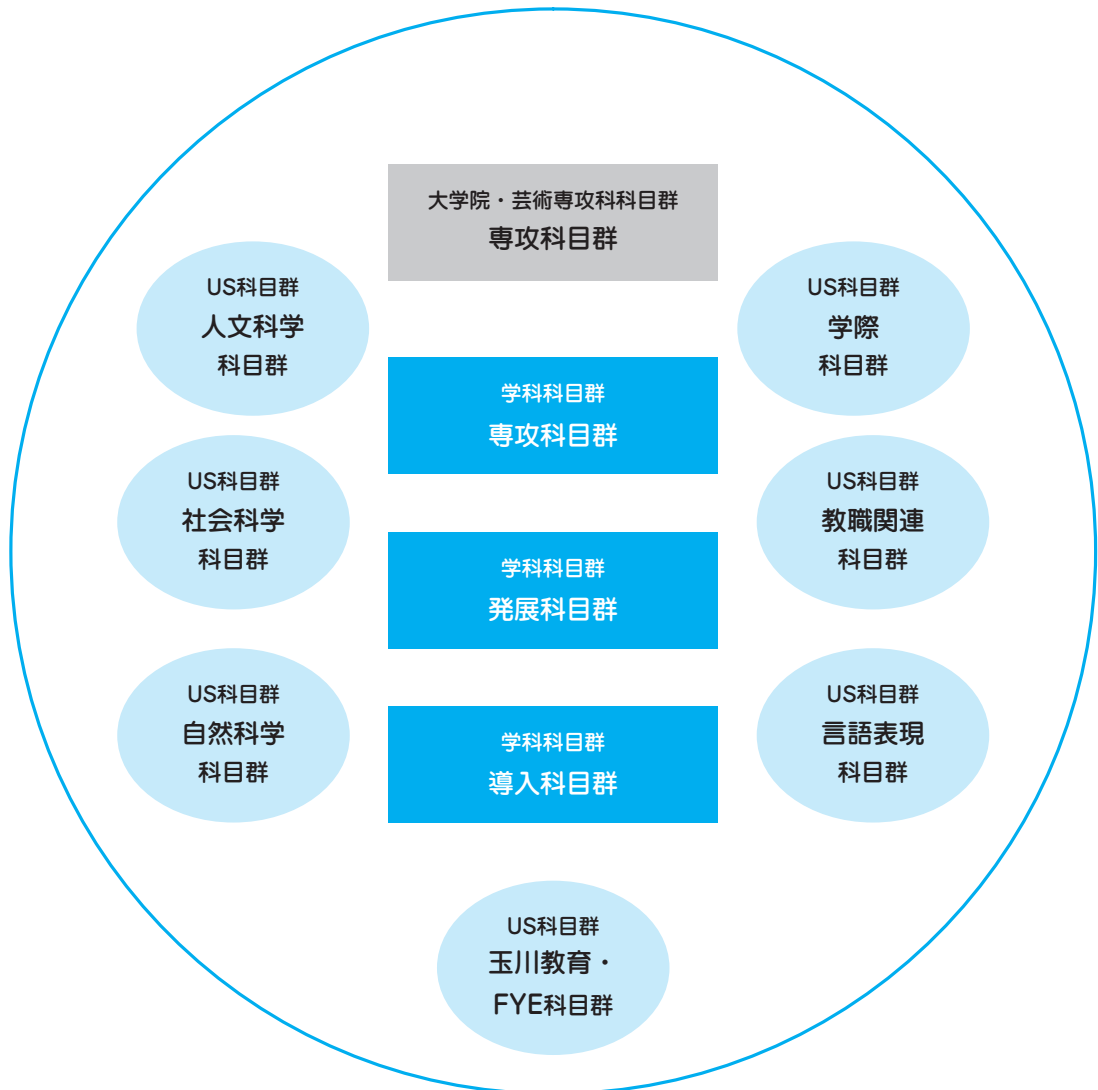
初年次教育
p. 8

教養豊かな幅広い知識をもち、基礎学力の堅固な基盤と高度な専門能力をもった有為な人材を育成するために、本学では下記の構成からなるカリキュラムを用意しています。

- (1) ユニバーシティ・スタンダード科目群（玉川教育・FYE科目群、人文科目群、社会科学科目群、自然科学科目群、学際科目群、言語表現科目群、教職関連科目群）
 - (2) 学科科目群（導入科目、発展科目、専攻科目）
- *大学院・芸術専攻科科目（必要な学生のみ履修）

特色としては、誰もが学際的な勉学に取り組めるよう、所属する学科以外の学部・学科で開設されている科目も選択履修できるよう配慮されていることが挙げられます。

*ただし、各学部の教育課程表で、他学部・他学科科目受講欄に「○」がついているかどうかを確認すること。



*ユニバーシティ・スタンダード（US）科目群の中には、学部が指定する科目があります。

ユニバーシティ・スタンダード科目群	ユニバーシティ・スタンダード科目群は、学士課程教育において重要な役割を果たす教養教育と専門教育の連動をめざして構成されています。	玉川教育・FYE科目群	玉川大学の教育は、創立者小原國芳の提唱した「全人教育」の理念のもとに実践されています。玉川教育・FYE科目群の各科目は、全人教育の核あるいは基底となるものです。	
	ユニバーシティ・スタンダードの諸科目は、広い教養の世界に立つ学生の原点となる科目です。専攻領域と並行して、ユニバーシティ・スタンダードの諸科目を学ぶことで、学生はさまざまな学問分野にふれることができると同時に、それぞれの分野を自らの専攻領域の学問的・社会的役割と関連づけて理解する機会が与えられます。	人文科学科目群	人文科学科目群では、言語表現科目群と併せ、広く人類の文化について研究します。多文化・異文化についての造詣を深めると同時に、これまで人類が積み重ねてきた文化について学びます。	
	ユニバーシティ・スタンダードの諸科目を学ぶことで、学生はさまざまな学問分野にふれることができると同時に、それぞれの分野を自らの専攻領域の学問的・社会的役割と関連づけて理解する機会が与えられます。	社会科学科目群	社会科学科目群の諸科目は、政治学や経済学に代表されるように社会現象を考察、分析、総合し、そこに一定の法則を見出すことをめざします。学習をとおして市民の社会的役割と責任を理解することが求められます。	
	ユニバーシティ・スタンダードの諸科目の学習は、みなさんが専攻する学問領域の知識体系の意味を明確にするだけでなく、自己の存在を歴史・社会・自然と関連づけて理解するうえで有益です。	自然科学科目群	自然科学科目群では、自然現象の法則を学ぶと同時に、人間の社会を発展させる自然科学の社会的機能を理解することが求められます。科学の素養を身につけるために、実際に演習および実験を行う科目も用意されています。	
	この科目群は、「玉川教育・FYE科目群」「人文科学科目群」「社会科学科目群」「自然科学科目群」「学際科目群」「言語表現科目群」「教職関連科目群」の7群から構成されています。	学際科目群	人類がこれまで積み重ねてきた人文科学、社会科学、自然科学の知識をふまえ、社会の新たな課題にたいし、総合的に取り組む科目群です。特に、既存の学問領域の枠組みだけではとらえきれない事象についてさまざまな学問の知見を援用しながら学んでいきます。	
		言語表現科目群	言語表現科目群は日本語を含めた諸言語の運用能力-言語によるコミュニケーション能力の養成を目的としています。言語コミュニケーション能力は「聞く」「話す」「読む」「書く」の諸要素で構成され、人間が社会生活を営む際に、欠かすことのできないものです。	
		教職関連科目群	教育職員免許状を取得するために開設されている科目です。	
学科科目群	各学科の教育目標に従って設けられた授業科目群です。「導入科目」「発展科目」「専攻科目」の3群に区分され、学習進度に合わせて順に履修するよう開設されています。	導入科目群	学部・学科開設科目のうち入門的意味合いをもつ科目群です。同時に、何よりも専門教育を学ぶうえでの骨格となる重要な科目群です。この科目群の徹底した修得なくしては、その後の「発展科目」「専攻科目」等の理解は得られません。	
	また、大学院・芸術専攻科の進学希望者のためには「大学院・芸術専攻科科目」、教育職員免許状取得希望者には「教職関連科目」がそれぞれ開設されています。	文学部	学部・学科開設科目のうち入門的意味合いをもつ科目群です。同時に、何よりも専門教育を学ぶうえでの骨格となる重要な科目群です。この科目群の徹底した修得なくしては、その後の「発展科目」「専攻科目」等の理解は得られません。	
	自分の適性や将来の進路を早い時期に見定めて、その目標に向かって、計画的かつ体系的に科目を履修するよう心がけてください。	農学部	導入科目に引き続いて学ぶ、専門性のレベルを向上させるための授業科目です。	
		工学部	いわば専門分野へと進んでいくための基礎科目群です。この科目群の学修を通して、問題の発見および解決の能力を養います。	
		経営学部	専攻科目群	「導入科目群」「発展科目群」での学習を基礎として学ぶ専門性の高い科目群です。
		教育学部	「導入科目群」「発展科目群」での学習を基礎として学ぶ専門性の高い科目群です。	
		芸術学部	したがって、この群に開講される科目については、卒業後の進路をも見据えて幅の広い専門知識・技能を身につけた奥行き深い職業人となる等の明確な目的意識をもって選択履修することが望まれます。	
	リベラルアーツ学部	大学院・芸術専攻科科目	大学院・芸術専攻科への進学希望者で、一定以上の優秀な成績をおさめた学生が履修できます（ただし、卒業要件単位には含まれません）。	

* FYEとは、First Year Experience® の略で、米国サウスカロライナ大学付属初年次教育研究機関（National Resource Center for The First-Year Experience & Students in Transition, University of South Carolina）の商標です。